1 スイスに行く

○面積は 1285Km²、九州より一回り大きい程度。その 60%をアルプス山脈が占めている。

○経度・東経8度、緯度・北緯46度。日本との時差8時間。

○飛行機 往路 成田→アラスカ→グリーンランド上空→イギリス上空→チューリッヒ 復路 チューリッヒ→黒海上空→カスピ海上空→モンゴル上空→北京上空→成田 約 13 時間 ・ロシア上空を避けて飛行。帰国の際は偏西風に乗って所要時間が短い。





2 スイスアルプス山脈

◆アルプス山脈の成り立ち

アルプス山脈の形成は、約1億年前から始まった。アフリ カプレートが北上し、ヨーロッパプレートと衝突した結果、 海底の堆積物が押し上げられて山脈が形成された。このプロ セスは数千万年にわたって続き、今日見られるアルプス山脈 の壮大な地形が生まれた。現在も年間 1mm 隆起している。



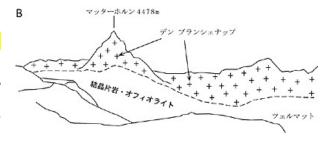


◆アルプス山脈の地質学特徴

アルプス山脈は、さまざまな種類の岩石と地層で構成され ている。山脈の多くは<mark>堆積岩や変成岩</mark>でできており、これら はかつての海底の堆積物が隆起した結果である。また、アル プス山脈の中には、古い時代の地質構造を示す岩石も見られる。

▲マッターホルン(標高 4478m)の地質・岩石

尖ったところは古生代の<mark>地殻起源の片麻岩と花崗</mark> 岩、その下は中世代の海洋堆積層起源の結晶片岩、 つまり新旧が逆転している。もともとはヨーロッパ 大陸とアフリカ大陸に挟まれて存在した海の海洋地 殻と海底堆積物という地質で、変成作用により



地殻は片麻岩、海底堆積層は結晶片岩などになっていたが、アフリカプレートが北進、ヨーロッパ プレートよりも軽いので、沈み込まずに激突した。車の正面衝突のようにグシャグシャになり(褶 曲)、断裂もして(断層)、新旧の地層が入り乱れた。これをナップと言う。テーブルに折り曲げ て置かれるナプキンの意味。

さらに氷河によって削られて、マッターホルンの尖った形になり、こういった地形は<mark>氷食尖峰</mark>と 呼ばれる。



湖面に映る逆さマッターホルン



ろうそくを灯したような朝焼けのマッターホルン



モンブランの展望台の花崗岩 氷河特急わきの露頭。結晶片岩。 古い家屋の屋根はスレートで





■氷河

ヨーロッパアルプスの氷河は、急激に融解しており、今世紀末にはアルプス全体の氷河が消える と予想されている。アルプス最大のアレッチ氷河(23Km)は40年で1.3Km以上後退した。



世界遺産のアレッチ氷河(net 画像)



スフィンクス展望台からのアレッチ氷河

氷河はゆっくりと流れながら周りの地面や岩石を削る。アルプスの山々は尖った山容を形成し、谷 はU字谷となる。



ゴルナーグラート展望台からのゴルナー氷河



ベルニア・ディアヴォレッツァからの モルテラッチ氷河

●灰色に濁った河川





前方ライン川と後方ライン川の合流地点

▲見ることのできた(たぶん??) アルプスの名峰



モンテローザ 4634m ヨーロッパ第2の高峰



モンプラン 4810m ヨーロッパ最高峰



アイガー3970m 三大北壁の一つ



*>**L** 4099m



ユングフラウ 4158m

3 スイスアルプス 動植物

◆アルプス山脈の植生

スイスアルプスは、

およそ標高 3000m が万年雪が残る雪線 標高 2000m が森林限界線、

その間が高山草原群落で多様な植物が生息。



●エーデルワイス

マッターホルン山麓のトレッキング中に、終わりかけの数輪のエーデルワイスを見つけた。スイスの国花。この花は厳しい環境で育つため、強さや純粋さの象徴とされている。映画「サウンドオブミュージック」で歌われたことで世界中に知られた。日本には早池峰山の蛇紋岩地帯に、ハヤチネウスユキソウというこれに似た花がある。



●よく目についた植物

- 山岳鉄道沿いにはドイツトウヒ、カラマツ、トドマツ、モミなど日本でもおなじみの針葉樹。
- ・街路樹には広葉樹。ナナカマド、カエデ類。(テツカエデ、ヒトツバカエデ)

◆アルプスで出会った動物

アイベックス、



鯨偶蹄目 ウシ科 ヤギ属

急峻な山腹に生息。蹄の内側にある柔らかい肉球が地表面をつかみ取る構造をしている。

マーモット(net 画像)



齧歯目 リス亜目 リス科 ゴルナーグラード登山鉄道周辺 で2匹見かけることができた。 巣穴で生活。草食性。



白いカタツムリ

偶然見つけた白いカタツムリ。独特の白または淡い殻を特徴とするアルビノの種類のカタツムリか? アルビノのカタツムリは、他の形態の動物の白皮症と同様、遺伝的な色素沈着の欠如によって引き起こされるとのこと。

ブラウンスイス牛



アルプスの放牧風景に欠かせない存在。濃い茶色の 毛並みが特徴。 チーズやヨーグルトづくり にも欠か せない乳牛として知られている。

放牧地は電気柵が張り巡らされている。

牛は乳を搾ってほしくなると自ら牛舎に帰ってく るとのこと。

冬になると牛舎でくらし、電気柵は冬の前に回収 されるとのこと。これはちょっと驚き。

4 スイスでの生活

○サマータイム時期は日本の時差は7時間。・日出時刻 6:50、日入 19:55

〇物価が高い。SFr.(スイスフラン)=187円 200SFr.換金。あとはカード払い(Mastercard)

- 500ml の水のペットボトル 2 SFr. (374円)、山上の店(マッターホルン) 6 SFr. (1122円)
- おにぎり1個 4.5 SFr. (841円)、お弁当 11.95 SFr. (2234円)
- ・ボロネーゼ 21SFr.(3927円),ナポリタン 19 SFr.、チーズフォンデュ 34 SFr.(6358円) ビール 6 SFr. ノンアル 4.5 SFr.
- ・キーホルダー7.4 SFr.(1383円)
- 〇日用品、食料品は COOP という店あり。
- 〇飲み物ペットボトルの単位 50cl。 dl表示もあった。
- 〇ツェルマットとグリンデルワルトには、日本の山の店のモンベルがあった。

マッターホルン T シャツ 43 SFr. (8041円)

- 〇トイレ 洗浄トイレはない。トイレットペーパーはキッチンペーパーなみに分厚い。
- ○星空 東の夜空にオリオン座が見えた。
- 〇ベルニナ特急や氷河特急など列車は、 何のアナウンスもなく出発する。



ループ橋を通過するベルニナ特急